

光触媒(NFE2)の質問 2

- ① 2液ウレタン塗料など、常乾塗料での施工面(床、手摺、ドアノブ、エクステリア製品群、)に後から NFE2 を塗装し、長く効果を持たせたい場合の施工方法を教えていただけますでしょうか？

→塗布後にヒートガンか大型のヘアドライヤーで瞬間でも表面温度 150℃以上に加熱すると接着力と耐摩耗性が格段に向上します。床面は床用をそのまま塗布して常温で乾燥させるだけで耐摩耗性のある塗面が得られます。

- ② UV 塗装面にも、同上の確かな機能付与をいたしたい場合の施工方法を教えていただけますでしょうか？

→UV 塗装済のフローリング材に 1 を試したことがありますが大変うまくいきました。画像の右半分ように光触媒は親水性が最大の特長で、これがない光触媒製品はセルフクリーニングも殺菌機能もまるでないニセモノです。



- ③ 樹脂製(プラスチック面)の室内製品への機能付与の際、NFE2 を塗装することを想定いたす場合の施工法もお願いできますでしょうか？

→基本的には 1 に準じますが PP(ポリプロピレン)、シリコーン等の接着しにくい素材については別途プライマーをご用意します。

- ④ 全艶の面ですと、どれ位の艶低下や色合いの変化を想定できますでしょうか？

→光触媒は白色顔料でもありますので塗布後に多少の白濁と艶の低下は避けられません。だいたいの場合は需要家の許容範囲で、全体に塗布すれば分からなくなる場合が多いのですが平滑で濃色の基材へは事前の試験施工が無難です。

⑤ 塗膜の付着いたしております NFE2 が、室内ですと(人が触れる場所として)どれ位保持され維持されるか、大体の目安や付着膜の消失はどのようなメカニズムとなりますでしょうか？

→光触媒は消耗するものではなく、殺菌機能を担う銅・銀粉も室内環境では 10 年以上消費することはないと考えられますので寿命は「摩耗による剥離」がもっとも可能性の高い要因です。これは使用頻度により千差万別ですから保持期間としては断言しにくいのですが、たとえばエレベータや自動ドアのボタン等「押すだけで擦られる可能性の少ない部位」では 2 年以上の保持期間が期待できるというも思います。



⑥ 10 年以上経過の窯業系サイディングの、外壁塗装としてトップコートだけで使えるでしょうか？

→窯業系サイディングは、実はどの社の製品も水性アクリルシリコンクリヤーまたは水性アクリルクリヤーで仕上がられていますので実態としては水性(アクリル)シリコンクリヤー層の上に塗布することですからそのままワンコートで仕上げればよいかと思えます。



また、光触媒仕様のサイディングにはクリヤーの塗り重ねは不可能」との認識が広がっておりますが、これは「光触媒がクリヤー層を侵す」という現象を危惧してのことです。当社の光触媒コーティング剤は光触媒で侵されることがありませんので安心して上塗りにお使い下さい。とくに光触媒サイディングやその他の親水処理サイディングは北面にカビが生えやすいのですが、その対策にもお使い頂けます。

⑦ 上記同様に、「陶器などのタイル外壁」「金属サイディング外壁」「焼杉などの板材」にはワンコートで適用できるでしょうか？

→タイル面に塗布するとタイルそのもののセルフクリーニング機能向上とともに目地の防カビ機能付与もできます。ただ、せつ器質や砂岩調タイル等の多孔質タイルは耐摩耗性に問題がないのですが平滑な磁器タイルでは耐摩耗性がありませんのでこの性能が必要な場合には別途ご相談下さい。金属サイディングや焼杉板への適用もこれに準じます。

⑧10年以上経過の瓦屋根(いぶし瓦、釉薬河原、セメント瓦)へトップコートだけで使えますでしょうか？

→基本的には②と同じでワンコートだけでも耐候性や耐水性は十分ですが、耐摩耗性が足りない場合があります。耐摩耗性が必要なときには別途お問い合わせください。適合する下塗りをご提案します。ちなみにブルネイのモスクの釉薬瓦屋根ではもう4年以上の実績がございます。



⑨上記同様に、「コロニアルなどのスレート屋根」「金属屋根」への塗装は塗り替えなしで、光触媒トップコートのみ塗布ができませんでしょうか？

→スレート屋根も形状が異なるだけで構成は窯業サイディングと同じですから①に準じますが金属屋根も含めて、せつかく屋根を塗り替えるのであれば遮熱塗装とセットで提案されるといいと思います。予算がなければ単に白色に塗るだけでも実は遮熱塗装とほぼ同じ効果がありますが光触媒でその遮熱機能の超寿命化が併せて得られ、単なる美観維持だけでないので得意先への訴求力は格段に上がります。

⑩外壁の弱溶剤の上に塗れますでしょうか？塗装後完璧に乾けば塗れますか？何年か経過した弱溶剤の上は塗れますか？

→NFE2(屋外用)は溶剤中の水の含有量が多いので、(弱)溶剤系塗膜のように撥水性がかなり高い塗膜にははじいて塗りにくい場合があります。そんな場合に対応するためにNFE2(撥水素地用)やその廉価版のNFE2-CDを作りました。溶剤がほとんどアルコールですのではじかずにかんたんに施工できます。また、エポキシ塗り床面も適用可能ですのでぜひお試しください。

経年後の弱溶剤性ウレタンはそこそこ撥水性が失われていますので、作業性はより良好であると考えられます。

